

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2612
平成18年度部名	保健福祉部	課名	地域医療課	課長名	近藤敏男
平成19年度部名	福祉部	課名	地域医療課	課長名	川野佐一郎
事務事業名	病院群輪番制運営事業				
予算上の事務事業名	病院群輪番制運営事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第3節 市民医療の充実				
施策名	第2施策 救急医療体制の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
夜間及び土曜・休日における入院治療が必要な急病患者に対する医療を確保するため、二次救急医療機関を確保する。				市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 二次救急医療機関(有床医療機関のうち1日1ヶ所)の確保 2 二次救急補助医療機関(原則として、床医療機関のうち1日1ヶ所)の確保 3 コール医療機関(特殊な疾病等の診療に対応)の確保 ・夜間 診療時間19:00～翌朝9:00(土曜・休日は17:00～翌朝9:00)、診療科目 内科系 ・休日昼間 診療時間9:00～17:00(土曜は13:00～17:00)、診療科目 内科系					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
病院群輪番制運営事業は、県下ほとんどの自治体で実施している。					
8 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	165,422	164,926	178,353	188,094	188,094
一般財源	138,288	156,645	174,739	188,094	188,094
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	27,134	8,281	3,614	0	0
人件費の合計	1,614	1,610	1,610	1,610	1,610
事業コスト合計	167,036	166,536	179,963	189,704	189,704
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	病院群輪番制運営事業			対象名称 と単位	市民(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	167,036	166,536	179,963	189,704	189,704
対象数	620,653	624,121	628,864	669,955	674,000
単位あたり経費(円)	269	267	286	283	281
前年度比		0.99	1.07	0.99	0.99

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開設率（％）	指標式と指標の説明		開設日 / 開設予定日 × 1 0 0	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	365.0	365.0	365.0		
目標	365.0	365.0	365.0	366.0	365.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	患者数（人）	指標式と指標の説明		受診者合計（救急医療体制を確保する事業であり、数値による目標設定は難しいが患者数とした）	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	8585.0	9696.0	9928.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		夜間、土曜日及び休日における救急患者に対する医療の提供は市民にとって大変重要なことであり、今後も内科系の入院を必要とする救急患者の受け入れのための二次救急医療機関の確保に努める必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
社会経済環境の変化とともに、多様化・複雑化している救急医療事業の充実のため、医療関係団体等と十分に連携を図る必要がある。			医師等の確保の困難性などの課題から当番体制の維持が困難になりつつある。将来にわたり内科系二次救急医療機関の確保を図るため、限りある医療資源の効果的な活用方法等の検討が必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、効果的な事業の実施を検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			